

# 平成 25 年度 ISO 学生委員会 環境意識継続調査 調査結果

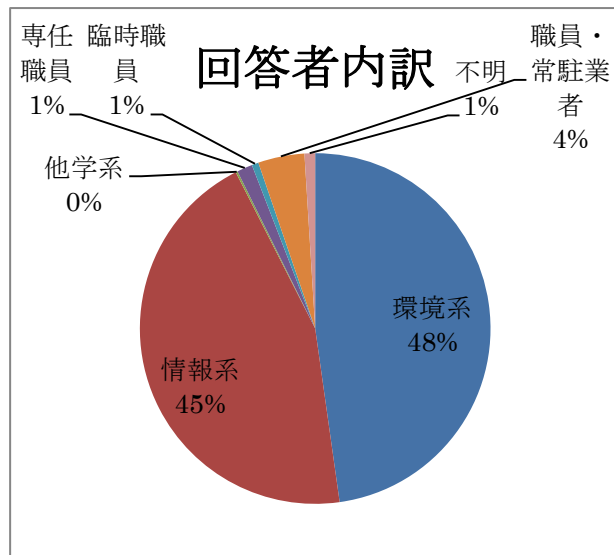
調査期間：2013/9/17～9/20

調査対象：東京都市大学 横浜キャンパス全構成員

回答人数：1122 人（52.0%）

## ●回答者の内訳

回答者の性別	人数	割合	回答率	母数
女性	353	31.5%		
男性	758	67.6%		
未記入	11	1.0%		
合計	1122		52.0%	2156
回答者の所属	人数	割合	回答率	母数
環境系学生・教員	536	47.8%	51.1%	1049
情報系学生・教員	502	44.7%	48.6%	1033
他学系学生・教員	2	0.2%		
専任職員	16	1.4%		
臨時職員	7	0.6%		
職員(不明)・常駐業者	48	4.3%		
未記入	11	1.0%		
環境系回答者の構成	人数	割合	回答率	母数
環境 1 年	229	42.7%	87.7%	261
環境 2 年	123	22.9%	57.5%	214
環境 3 年	98	18.3%	43.9%	223
環境 4 年以上	59	11.0%	21.2%	278
院生	21	3.9%		
教員	6	1.1%	27.3%	22
情報系回答者の構成	人数	割合	回答率	母数
情報 1 年	201	40.0%	80.4%	250
情報 2 年	133	26.5%	60.2%	221
情報 3 年	97	19.3%	40.4%	240
情報 4 年以上	48	9.6%	15.9%	301
院生	15	3.0%		
教員	8	1.6%	38.1%	21



●本調査における留意事項

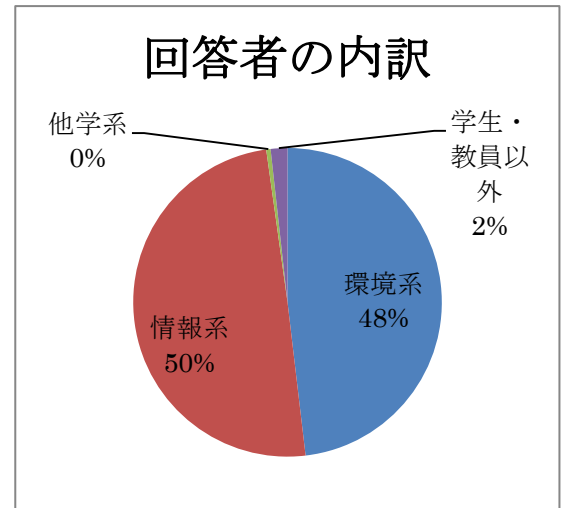
学生に対する調査は、前期と同じく各学年のガイダンス時に行った。しかし高学年において後期のガイダンスに参加する学生は比較的真面目な人物が多く、環境と情報それぞれの専門分野に元々関心の高い学生が多い。

教員に対する調査は専任教員のみを対象としたが、調査時期の都合上全員からの回答を得ることはできなかった。

学生と教員以外の構成員に対する調査は、今回より専任職員・臨時職員・常駐業者に分類しての調査を試みた。しかし調査票の不備により正確な分類はできなかった。

【参考資料 平成 25 年度前期調査結果】

回答者の性別	人数	割合	回答率	母数
女性	369	27.7%		
男性	956	71.8%		
未記入	6	0.5%		
合計	1331		61.7%	2156
回答者の所属	人数	割合	回答率	母数
環境系	631	47.4%	60.2%	1049
情報系	651	48.9%	63.0%	1033
他学系	6	0.5%		
学生・教員以外	23	1.7%	31.1%	74
未記入	20	1.5%		
環境系回答者の構成	人数	割合	回答率	母数
環境 1 年	252	39.9%	96.6%	261
環境 2 年	127	20.1%	59.4%	214
環境 3 年	137	21.7%	61.4%	223
環境 4 年以上	79	12.5%	28.4%	278
院生	13	2.1%		
教員	12	1.9%	54.6%	22
不明	11	1.7%		
情報系回答者の構成	人数	割合	回答率	母数
情報 1 年	236	36.3%	94.4%	250
情報 2 年	135	20.7%	61.1%	221
情報 3 年	153	23.5%	63.8%	240
情報 4 年以上	103	15.8%	34.2%	301
院生	11	1.7%		
教員	11	1.7%	52.4%	21
不明	2	0.3%		



●使用した調査票 (前期調査と同じものを使用した)

## ISO学生委員会 環境意識継続調査

●最初にあなた自身について質問します。

性別	<input type="radio"/> 女性	<input type="radio"/> 男性		
所属	<input type="radio"/> 環境系	<input type="radio"/> 情報系	<input type="radio"/> 他学系	<input type="radio"/> 学生・教員以外
学年等	<input type="radio"/> 1年	<input type="radio"/> 2年	<input type="radio"/> 3年	<input type="radio"/> 4年以上
	<input type="radio"/> 院生	<input type="radio"/> 教員	<input type="radio"/> 職員	

学籍番号を書いて、番号のマークを塗りつぶして下さい。  
7ケタ、ない人は無回答をお願いします。

学籍番号						
①	①	①	①	①	①	①
②	②	②	②	②	②	②
③	③	③	③	③	③	③
④	④	④	④	④	④	④
⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨	⑨
⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩	⑩

**【注意事項】**

- 記入は、必ずHBまたはBの黒鉛筆で、○の中を正確に、ぬりつぶして下さい。
- 訂正は、プラスチック製消しゴムで、きれいに消して下さい。
- 解答用紙を、折り曲げたり、汚さないでください。

**【記入例】**

- 良い例
- 悪い例

●まず環境への意識について質問します。

Q.あなたはISO14001をどの程度知っていますか？

- 全く知らない     名前だけは知っている     内容を少し知っている     内容をおおよそ知っている  
 内容を人に詳しく説明できる程知っている

Q.あなたは次の(1)～(11)に示す横浜キャンパスのエコスポットについてどの程度知っていますか？

(1) 8分別ゴミ箱	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている
(2) 外側カーテン	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている
(3) インターロッキング(保水性レンガ)	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている
(4) ペアガラス&Low-Eガラス	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている
(5) 駐車場	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている
(6) 保全林(グリーンマトリックス)	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている
(7) 庇(ひさし)	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている
(8) 透水性アスファルト	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている
(9) ソーラーシステム	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている
(10) ビオトープ	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている
(11) ハイサイドライト	<input type="radio"/> 全く知らない	<input type="radio"/> 見たことはあるが何がエコなのかかわからない	<input type="radio"/> それがエコであることを少しは知っている	<input type="radio"/> それがエコであることをおおよそ知っている	<input type="radio"/> それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている

Q.あなたは横浜キャンパスのゴミの分別方法を知っていますか？

- まったく知らない     少しは知っている     8分別の内容を知っている     8分別の捨て方を詳しく知っている

Q.あなたは3Rについて知っていますか？

- 知らない     3Rのうち一つないし二つを知っている     3Rの内容を三つとも知っている     3Rの優先順位を知っている

裏面につづく

●次に環境に配慮した行動について 質問します。原則として、横浜キャンパス内での行動としてお答えください。

Q. あなたはゴミの分別をどの程度行っていますか？

- ① 全く分別していない       ② あまり分別していない       ③ ある程度分別している  
 ④ 8分別のルールを守って分別している       ⑤ 8分別の捨て方を熟知して例外なく分別している

Q. あなたが空いたペットボトルを捨てる時、どのように分別していますか？当てはまるものを一つ選択してください。

- ① 無分別       ② ボトルとキャップ       ③ ボトルとラベル       ④ ボトルとラベルとキャップ  
 ⑤ ボトルとラベルとキャップとリング       ⑥ その他

Q. あなたはリリパック\* をどのように分別していますか？

\*リリパックは内側のフィルムをはがすとリサイクルできる食品容器で売店の井などで使われています。

- ① そのままゴミ箱へ       ② そのまま回収ボックスへ       ③ フィルムをはがして容器をゴミ箱へ  
 ④ フィルムをはがして容器を回収ボックスへ       ⑤ わからない

Q. あなたは普通の生活において次に示す(1)～(6)の環境配慮行動をどの程度行っていますか？

(1) 節水	<input type="radio"/> ① まったく行っていない	<input type="radio"/> ② たまに行うことがある	<input type="radio"/> ③ しばしば行っている	<input type="radio"/> ④ いつも行っている	<input type="radio"/> ⑤ そんなことは行う以前に考えたこともない
(2) 節電	<input type="radio"/> ① まったく行っていない	<input type="radio"/> ② たまに行うことがある	<input type="radio"/> ③ しばしば行っている	<input type="radio"/> ④ いつも行っている	<input type="radio"/> ⑤ そんなことは行う以前に考えたこともない
(3) 冷暖房を控える	<input type="radio"/> ① まったく行っていない	<input type="radio"/> ② たまに行うことがある	<input type="radio"/> ③ しばしば行っている	<input type="radio"/> ④ いつも行っている	<input type="radio"/> ⑤ そんなことは行う以前に考えたこともない
(4) 公共交通機関を使う	<input type="radio"/> ① まったく行っていない	<input type="radio"/> ② たまに行うことがある	<input type="radio"/> ③ しばしば行っている	<input type="radio"/> ④ いつも行っている	<input type="radio"/> ⑤ そんなことは行う以前に考えたこともない
(5) タンブラーまたは水筒を使う	<input type="radio"/> ① まったく行っていない	<input type="radio"/> ② たまに行うことがある	<input type="radio"/> ③ しばしば行っている	<input type="radio"/> ④ いつも行っている	<input type="radio"/> ⑤ そんなことは行う以前に考えたこともない
(6) その他 (他にしている環境配慮行動があれば具体例をお書きください)	( )				

Q. 大学のISO14001の活動に関して知りたい情報は何か？あてはまるものを全てを選択して下さい。

- ① 大学の省エネルギー方法に関する情報       ② 大学の省エネルギー効果に関する情報       ③ 大学の省資源方法に関する情報  
 ④ 大学の省資源効果に関する情報       ⑤ 特になし

ご協力ありがとうございました。

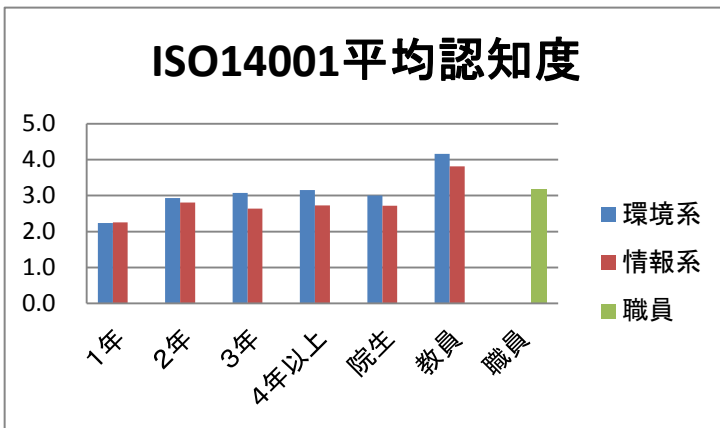
●ISO14001 認知度

※下の表およびグラフは、5段階尺度を等間隔とみなして数値化したものである。

ISO14001 認知度	回答人数	割合
1、全く知らない	45	4.0%
2、名前だけは知っている	322	28.7%
3、内容を少し知っている	502	44.7%
4、内容をおおよそ知っている	213	19.0%
5、内容を人に詳しく説明できるほど知っている	23	2.0%
回答漏れ	17	1.5%
合計	1122	100.0%

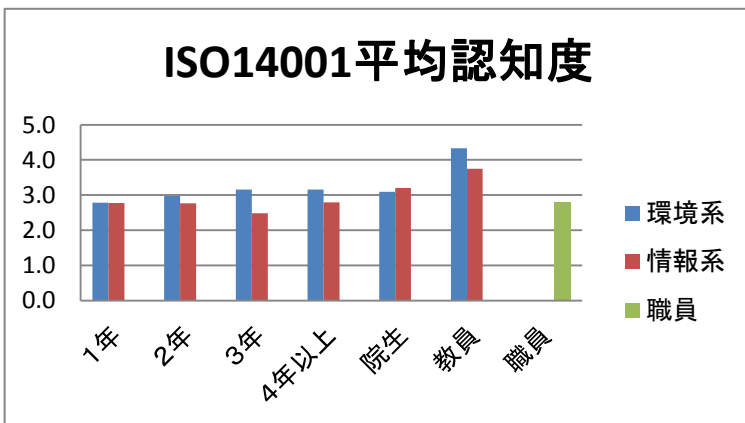
平均	環境系	情報系	その他	全平均
1年	2.8	2.8		2.8
2年	3.0	2.8		2.9
3年	3.2	2.5		2.8
4年以上	3.2	2.8		3.0
院生	3.1	3.2		3.1
教員	4.3	3.8		4.1
職員			2.8	2.8
学生平均	3.0	2.8		2.7
全平均	3.3	3.0	2.8	2.9

<2013 年前期>



他の指標との相関係数	
エコスポット認知度平均	0.616
ごみの分別方法認知度	0.426
3R 認知度	0.296
分別実現度	0.338
環境配慮行動実現度平均	0.295

<2013 年後期>



前期と後期と比べると、「全く知らない」の割合が10%減り全体平均も0.2%ほど改善された。これは1年生が改善したためと思われる。

学生や職員に比べ、教員の数値が高い。また、環境系の構成員の数値が情報系の構成員より高い傾向にある。これは環境系の構成員の方がよりISO14001に興味があるからだと思われる。

多くの構成員がISO14001に対するある一定の知識を持っていると考えられる。今後はより知識を深めてもらうよう立ち入った説明が求められる。

今回の調査におけるISO14001の認知度と他の指標との関係については概ね高い相関係数を示した。このことから、ISO14001の認知は環境に関する認知と環境配慮行動に対して強い正の相関関係があると考えられる。

●エコスポットの認知度

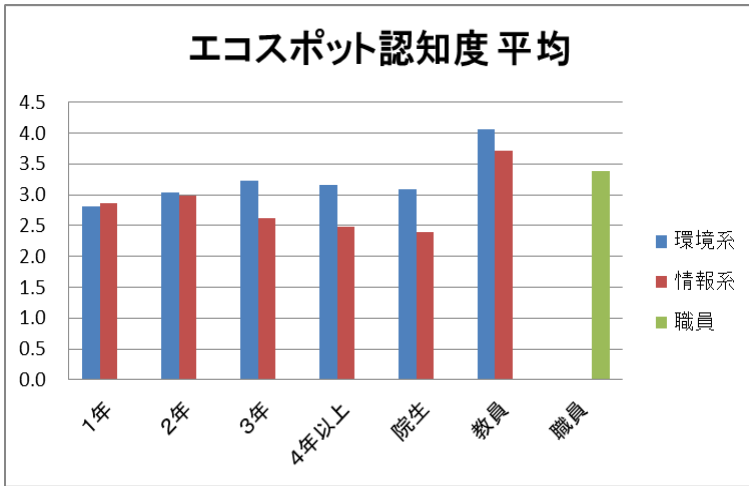
※下の表およびグラフは、5段階尺度を等間隔とみなして数値化したものである。

Q.あなたは次の(1)～(11)に示す横浜キャンパスのエコスポットについてどの程度知っていますか？

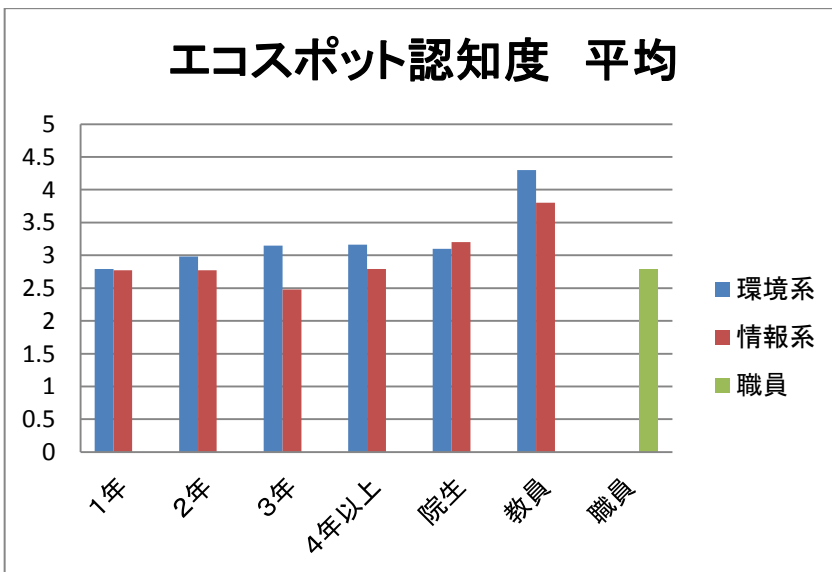
- 1、全く知らない
- 2、見たことはあるが何がエコなのか分からない
- 3、それがエコであることを少しは知っている
- 4、それがエコであることをおおよそ知っている
- 5、それがエコであることを人に詳しく説明できる程知っている

エコスポット認知度平均	前期	後期
(1) 8分別ごみ箱	3.45	3.6
(2) 外側カーテン	2.91	3.24
(3) 保水性レンガ	2.70	3.01
(4) ペアガラス	2.58	2.69
(5) 駐車場	2.74	3.02
(6) 保全林	3.12	3.28
(7) 庇	2.93	3.16
(8) 透水性アスファルト	2.68	2.88
(9) ソーラーシステム	3.63	3.59
(10) ビオトープ	3.03	3.17
(11) ハイサイドライト	2.18	2.36

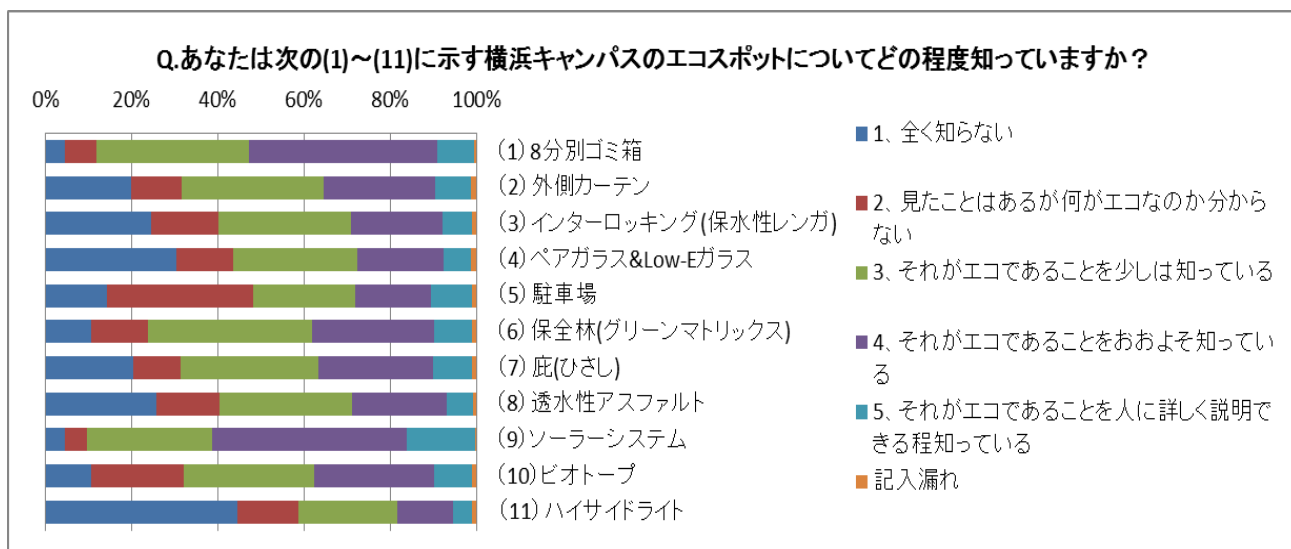
<エコスポット認知度平均 2013 年前期>



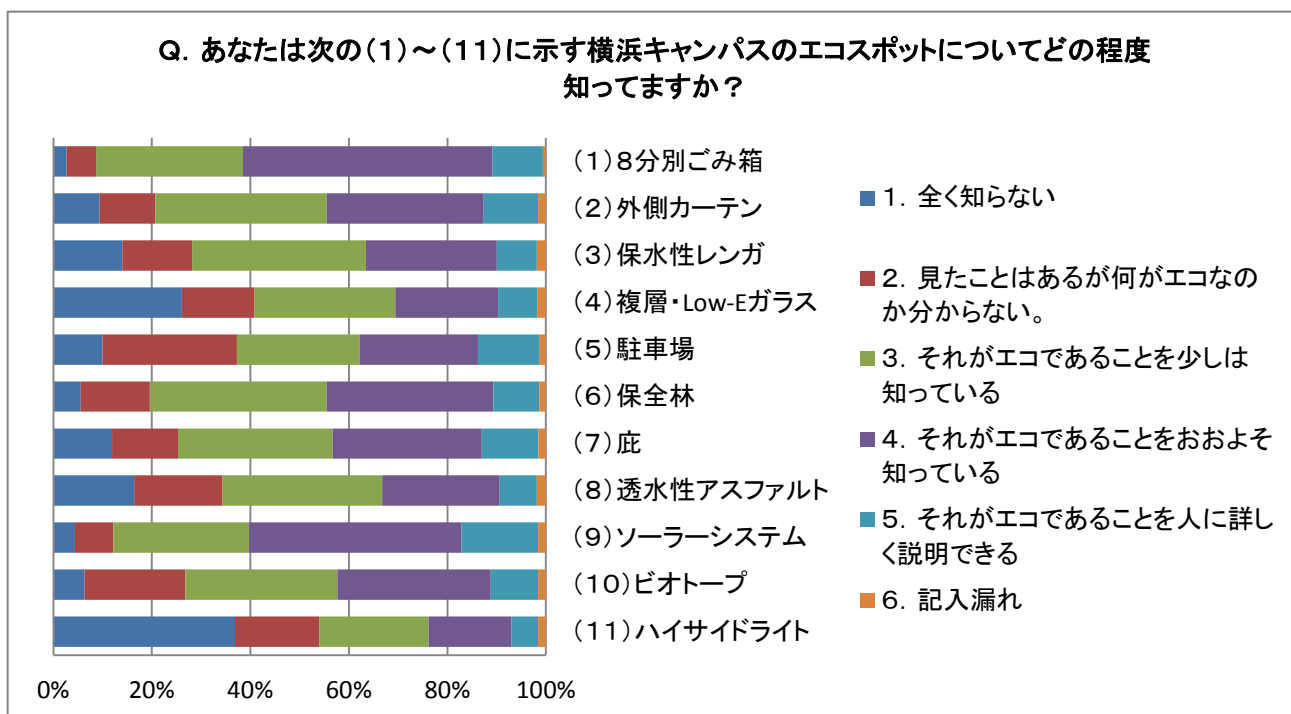
<エコスポット認知度平均 2013 年後期>



<2013 年前期>



<2013 年後期>





今回実施した環境意識継続調査の“各エコスポットの認知度”の項目について、2013年の前期調査と比較して、各エコスポットの全体の平均認知度は11項目の内、10項目において上昇傾向がみられた。また8分別ゴミ箱や駐車場、保全林、ビオトープなどの普段から身近なものや利用しているもの、授業で扱っているものの認知度は高い傾向にある。

しかし、その中でも、複層・Low-Eガラス、透水性アスファルト・ハイサイドライトの認知度は前期と比べ上昇してはいるが、依然平均としては低い分類に入るものである。

全体のエコスポットの認知度の上昇は前期に制作した環境月間用のパネルによる広報活動が大きく影響しているものと考察される。しかし、上記の3つのエコスポットは多くの人の目にふれやすいものの、一見して分かりにくいなどの問題点が共通しているものと考えられる。

さらに、エコスポットに対する知識が、なんとなくといった不明確な認識が多い。

例えば、比較的身近な資源回収BOXも「それがエコであるということをおおよそ知っている」が一番多いのは、エコにはつながるが具体的にどのようなことに役立っているかを知らない学生が多いと思われる。それを証明するかのようになり、“見たことはあるが、何がエコなのか分からない”という選択肢を選ぶ人の人数が前期とあまり変わっていない。

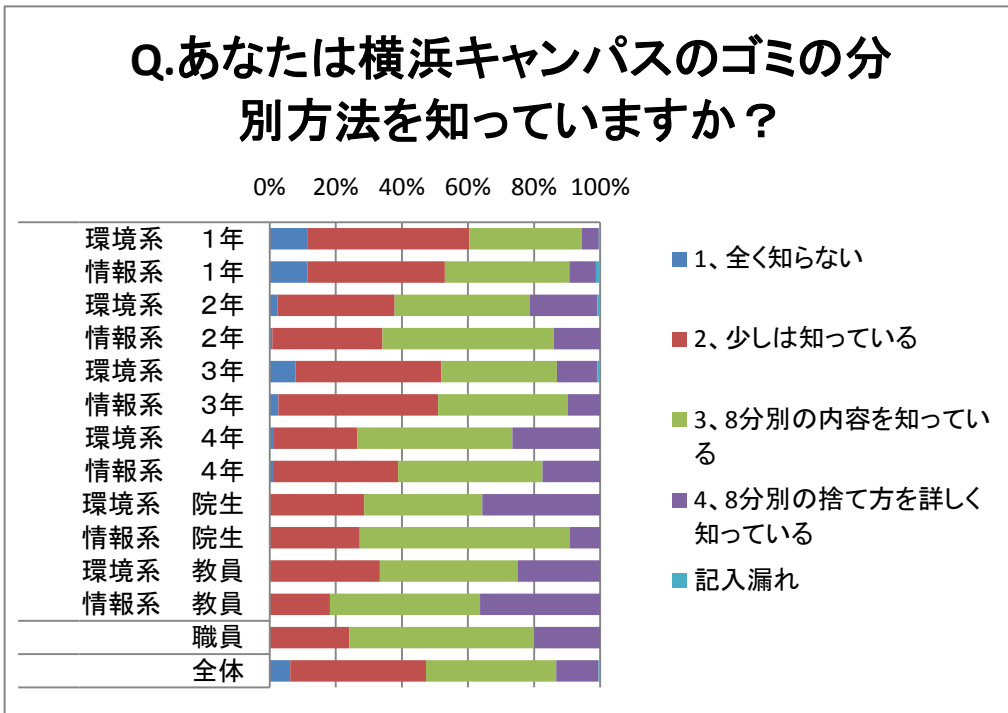
学年・学科・職業別のエコスポットの認知度は、認知度アップを期待する1年生はあまり上がっておらず、環境系の学生はあまり変わっていない。結果より1年生の認知度が上がっていないということは、なじみがないからわからない、新入生教育でのエコキャンパスツアーを忘れてしまっているため上がらなかったことが考えられる。

その一方、情報系の4年生以上、院生は上昇しているが、職員は大幅に減少傾向にある。情報系の学生のエコスポット認知度平均が前期よりも下がっている。またそれに伴い、環境系の学生は、平均的なエコスポットの認知度は上昇しているが、情報系の学部の学生は、ほとんど前期と比べて平均値に変動は見られない。考察を受けての改善点は以下の通りである。

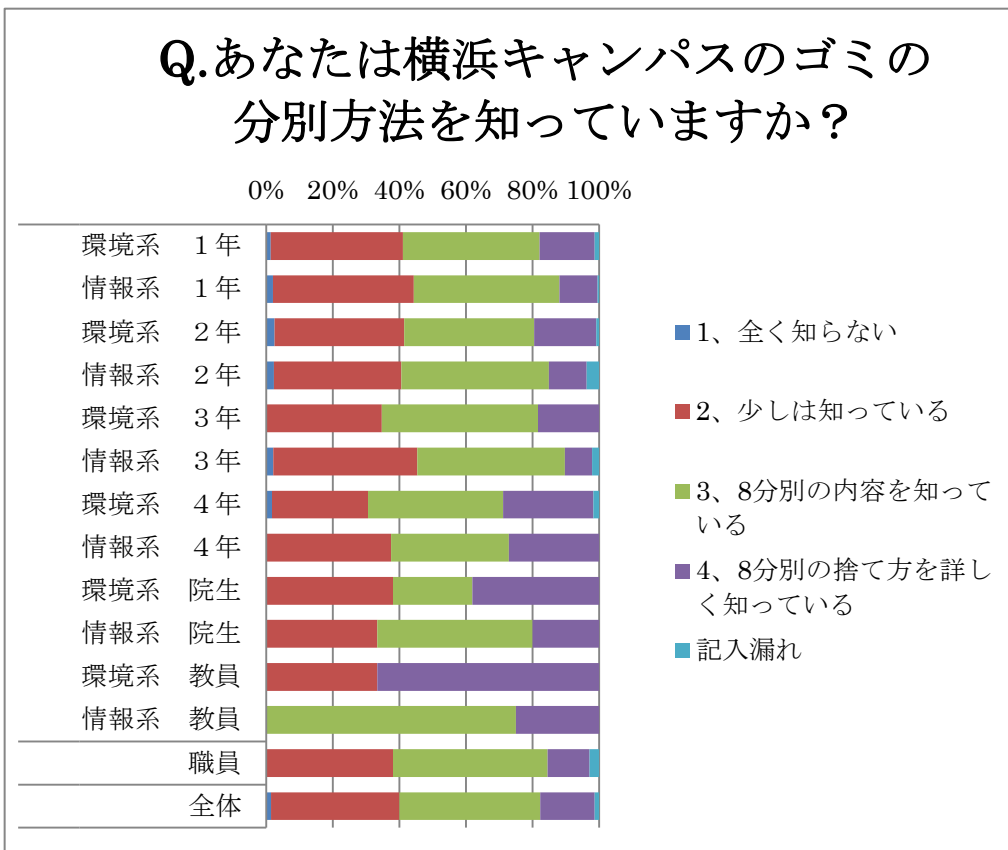
- 認知度が環境学部は学年が上がるにつれ上がっているのに対し、情報学部の学生は下がっているため、情報学部等の学内向け（在校生向け）のエコキャンパスツアーの実施。
- 日常的に、食堂など学生が多く集まるところにポスターなどでエコスポットの紹介をする。
- 過去にキャンパスツアーをやったことを忘れてしまっている可能性もあるので（入学したての4月ではまだキャンパスにそこまで興味を持ってないかもしれない？）学校生活に慣れてきた後期に再びエコキャンパスツアーを実施する。
- 教授・講師に協力を要請し、講義内において、エコスポットにふれてもらうなどして、知識の再構築が必要であるとする。
- 認知度が低かったソーラーシステム・ハイサイドライトなどの説明を体育館や食堂にポスターとして展示を行う。
- タブレット端末やパソコンなどを用いた、環境についての体験ができるような企画を行う。

●ごみの分別方法認知度

<2013年 前期>



<2013年 後期>



学生は前期と後期を比べて見ると向上が見られる。

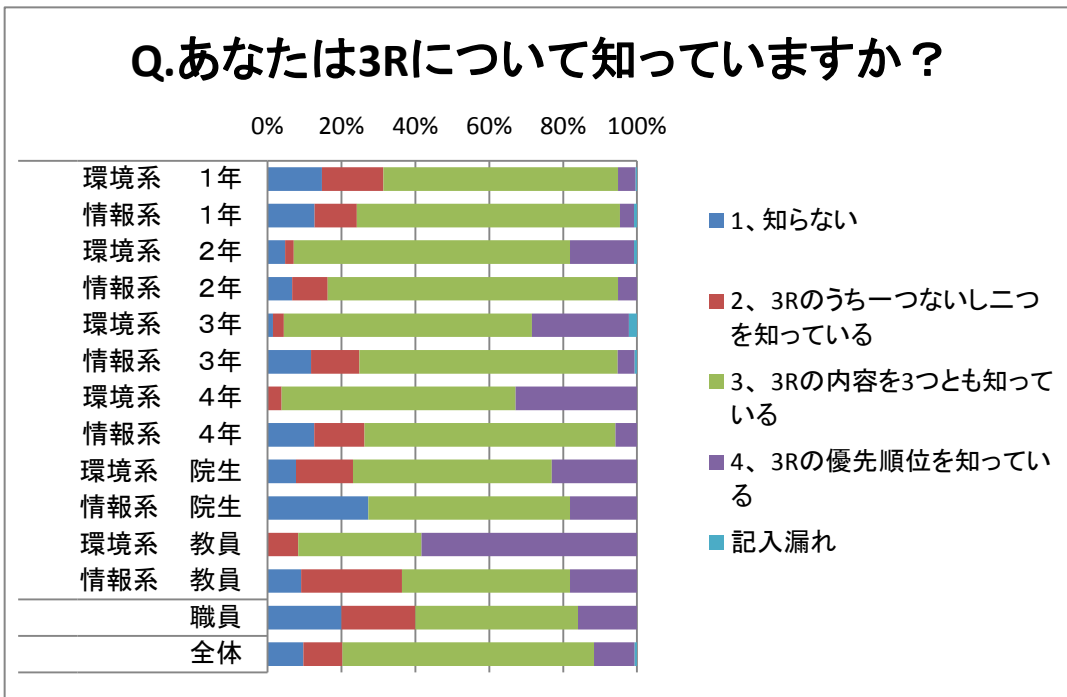
前期の環境系も情報系も1年生が全く知らないという項目は10%とありエコキャンパスツアーや大学生活数日で理解できている人もいたが理解できていない人もいたのでこのような結果になったと考えられる。後期ともなるとキャンパスのルールなども理解できて大学生活に慣れてきていると思うので5%未満という結果になっていると思われる。

情報系の教員は見てすぐにわかる向上率。前期の期間を経て徐々に覚えてきたのだと思われる。全体の移り変わりも向上している。これは1年生が改善されたことなどが要因と考えられる。

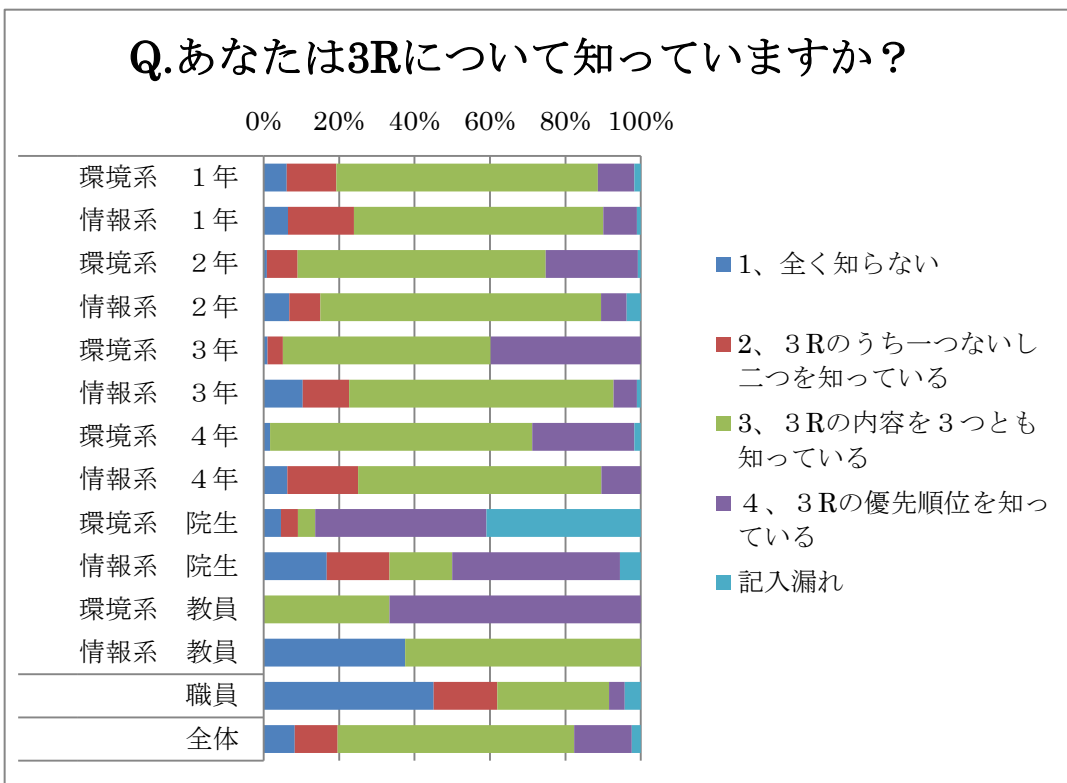
この大学に一年以上もいるのに、選択肢の2が40%近くもいるのは問題である。8分別をしっかりと理解してもらわなければならないが、そのためには何らかのアプローチをとるべきである。前期に引き続き、ごみ箱の表記の隣に写真を載せておくなどの改善が必要である。

●3R 認知度

<2013年 前期>



<2013年 後期>



前期の結果と見比べると全体的に学生の 3R の知識が身につけてきたのか割合が上がっている、職員全体の割合をみると下がっている。

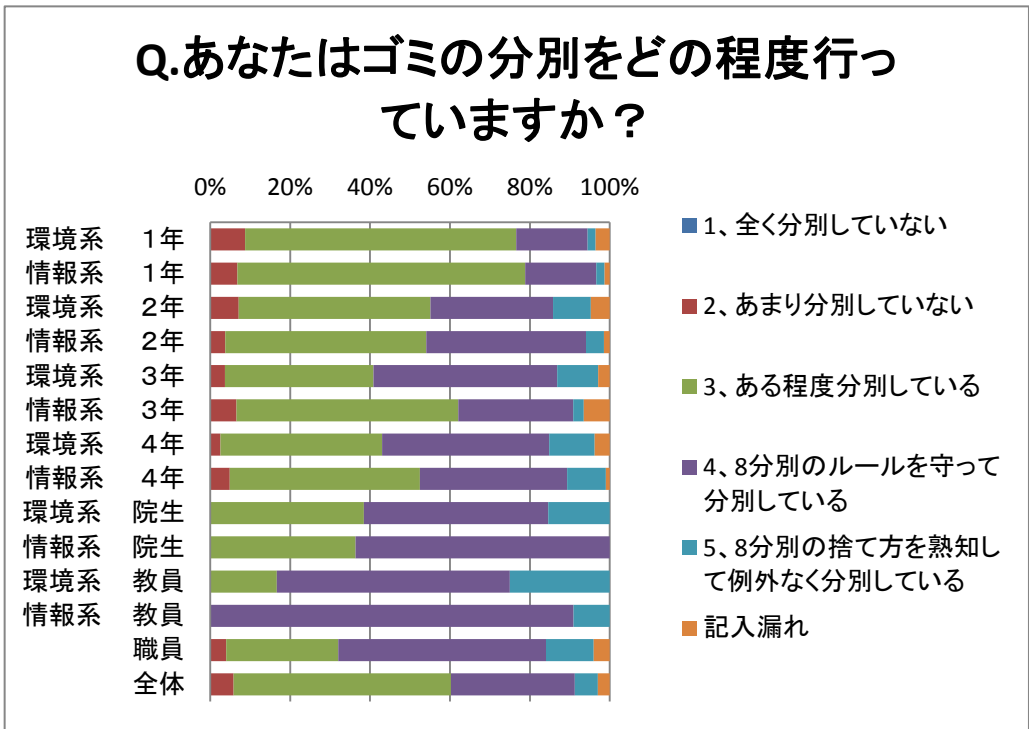
環境系の職員が一番良い選択肢である 4 を選んでいるが情報系の職員の結果が前期と比べて低くなっている。3R の知識を深めたことによって自分の見解が変わったのではないかと考えられる。

環境系の学生は学年を追うごとに環境に対しての知識が増えていくこともあり、選択肢 3.4 の割合が増えていると思われる。しかし、情報系の学生はあまり変化せず前期と後期でもあまり差が見られない。情報系の学生であっても横浜キャンパスの構成員なので改善しなければならない。

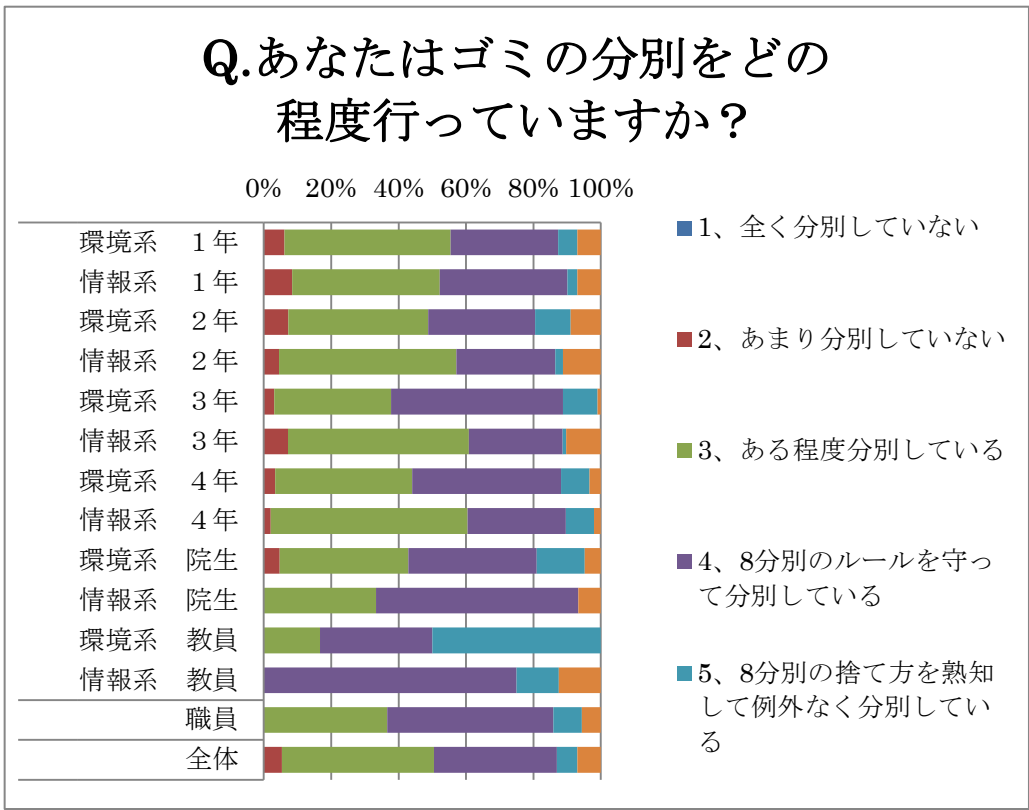
全体はあまり変わってないので前期に行ったアプローチと共に違った活動もやらなければ変わらないのでまた違った周知活動を行っていききたいと思う。

●ごみ分別実施度

<2013年 前期>



<2013年 後期>

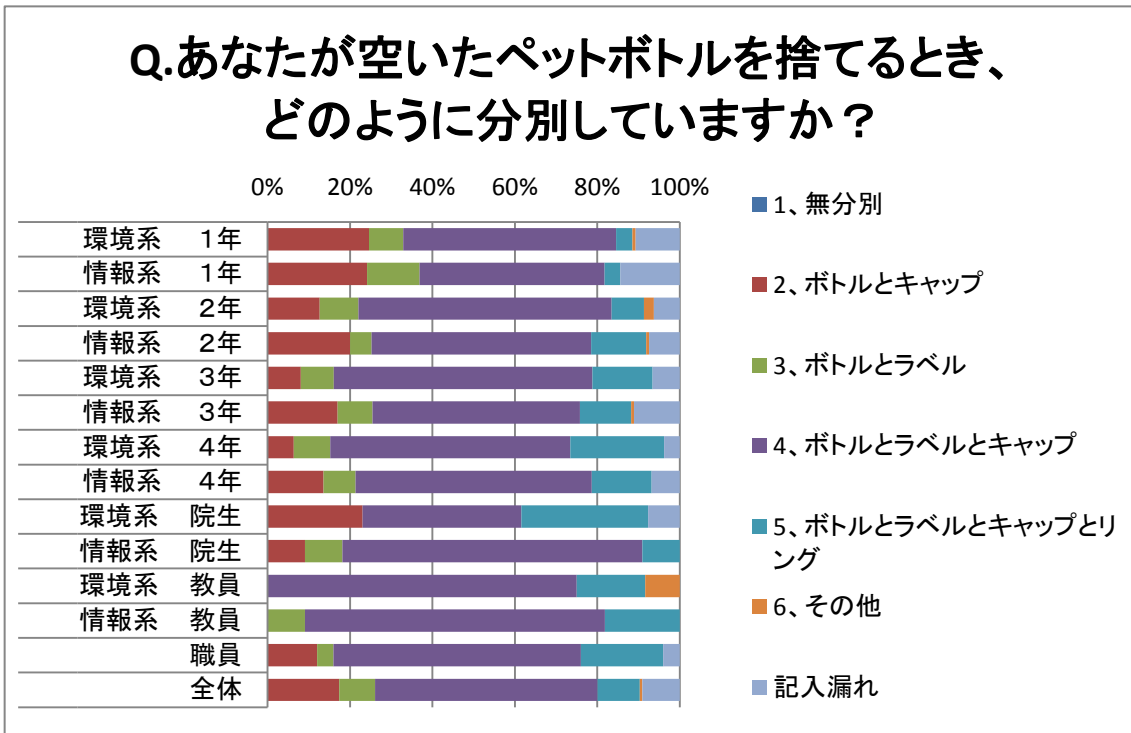


前期と後期を比べてみると全体的に向上している。そして前期と同じく、全く分別していないが無いことについては良い結果である。しかし、この質問の一番良い回答である 5 の割合は項目別で見ても、全体で見ても向上していない。

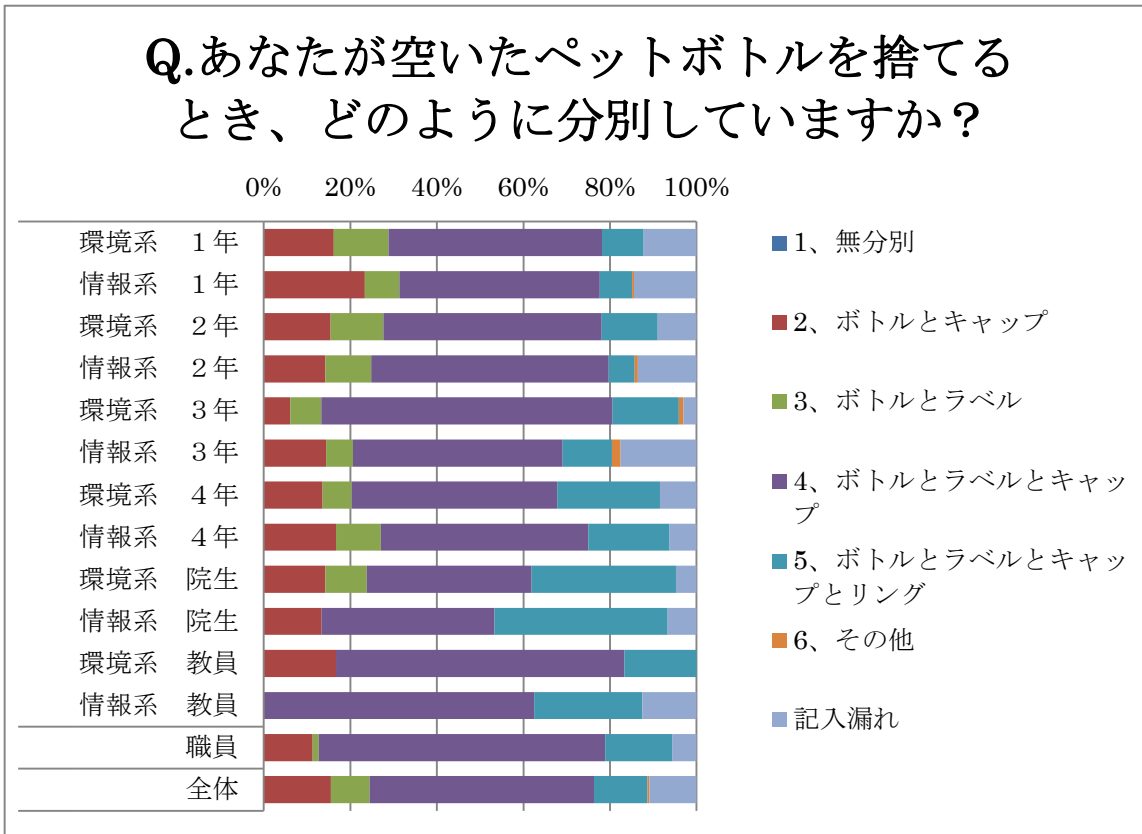
自分では分別しているつもりではあるが、深く掘り下げて選択肢の 4.5 のことを聞かれると不安になると考えられるので 3 の選択肢の割合が増えているのではないかと考えられる。改善方法としては横浜キャンパスのごみの分別方法について聞いた質問の方にも書いてあるがごみ箱の表記の隣に写真を載せておくなどの改善が必要である。横浜キャンパスで分別を行うことにより、普段でもごみの分別を行うと思われる。

●ペットボトルの分別方法

<2013年 前期>



<2013年 前期>





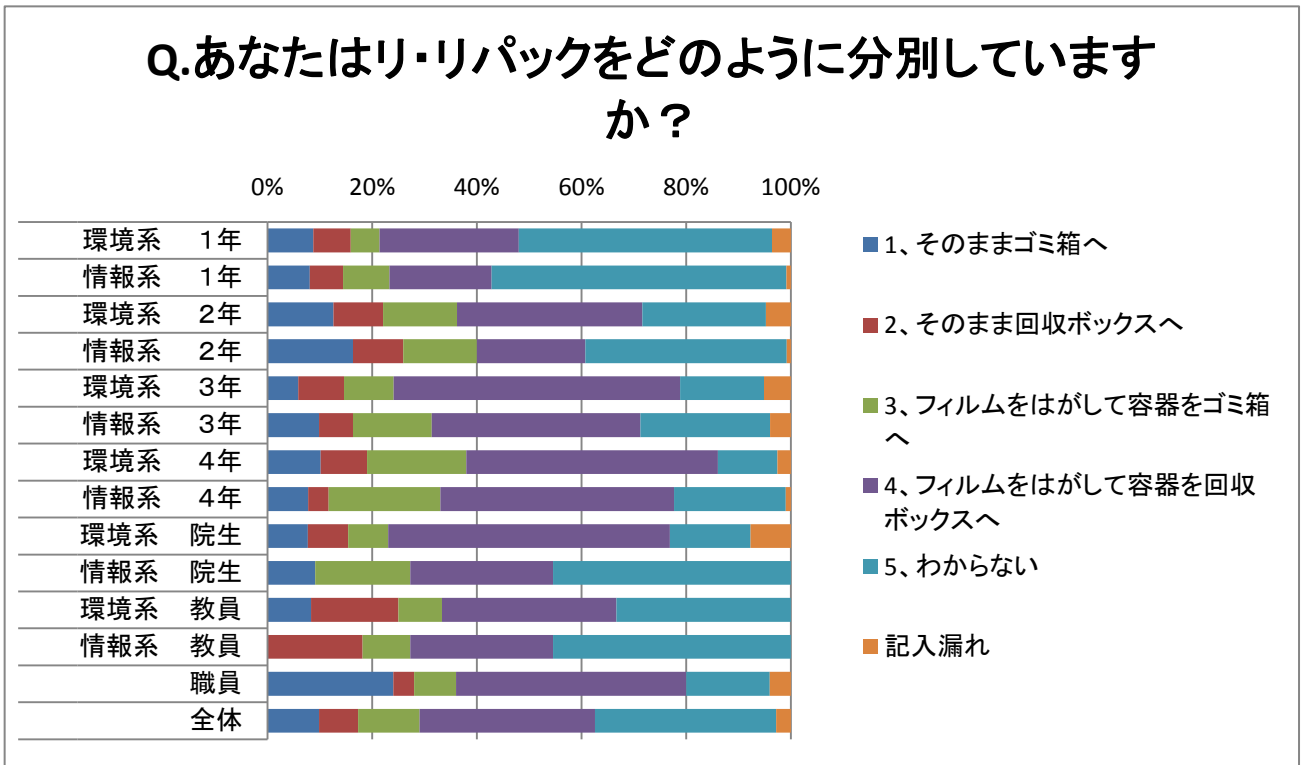
リングまではずしている人の割合がほとんどの属性で増えている。これはキャップ回収BOXや本アンケートでリングをはずせることを知った人がいたためであると考えられる。

特に院生はリングまではずしている人の割合が高い。これは長い期間都市大にいて環境意識が向上したからだと思われる。

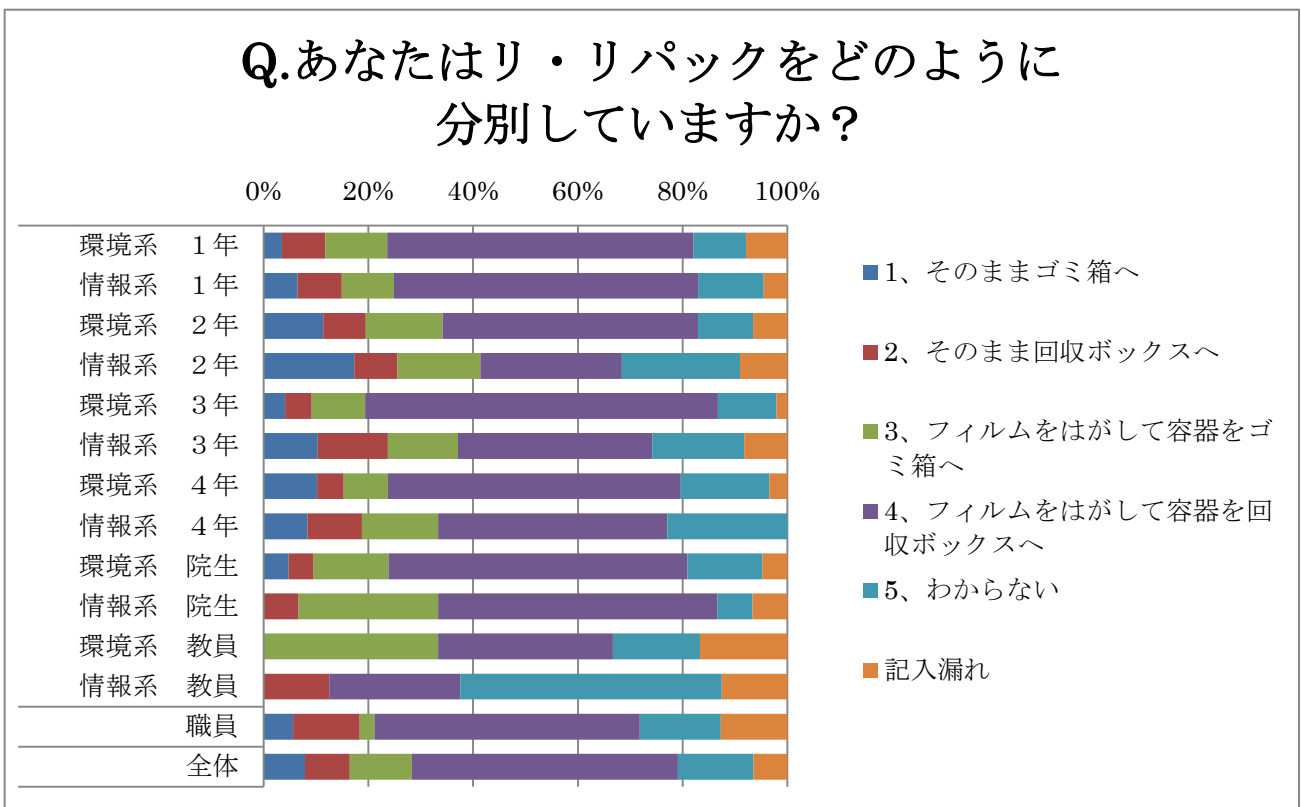
今後も引き続き多くの人に分別項目を多くしてもらおうよう、キャップ回収BOX等でPRする必要がある。

●リ・リパックの分別方法

<2013年 前期>



<2013年 後期>



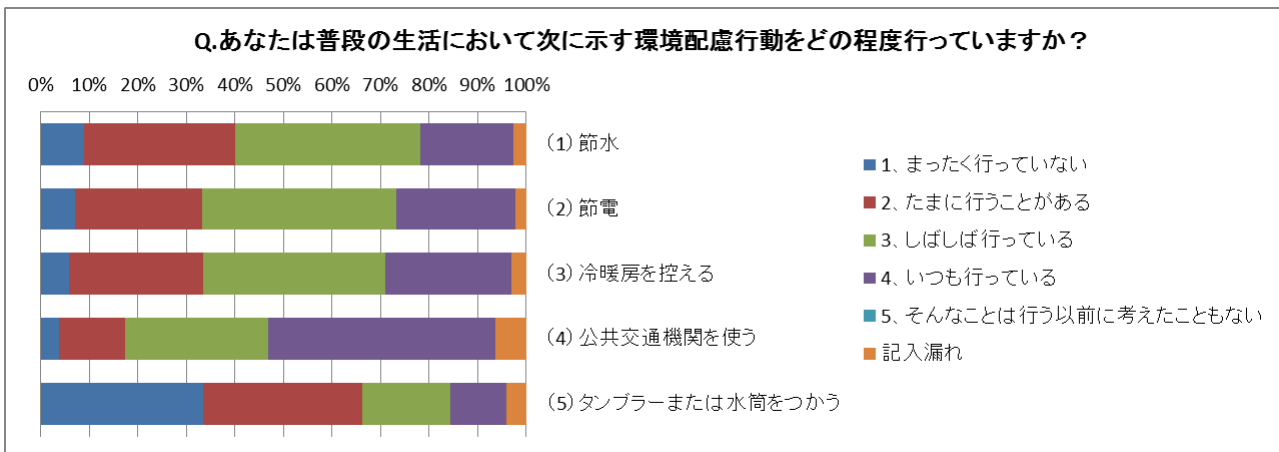
この選択肢の場合 4 が最良の選択肢であり、そこに着目してグラフを見てみるとリ・リパックの分別は全体的に大きく向上している。さらに前期と比べると 5 の選択肢のわからないという項目が少なくなっていることがわかり、向上していることがわかる。

新しいゴミ箱や分別ポスターの設置によりリ・リパックの分別方法をわかりやすくしたことにより向上したと考えられる。

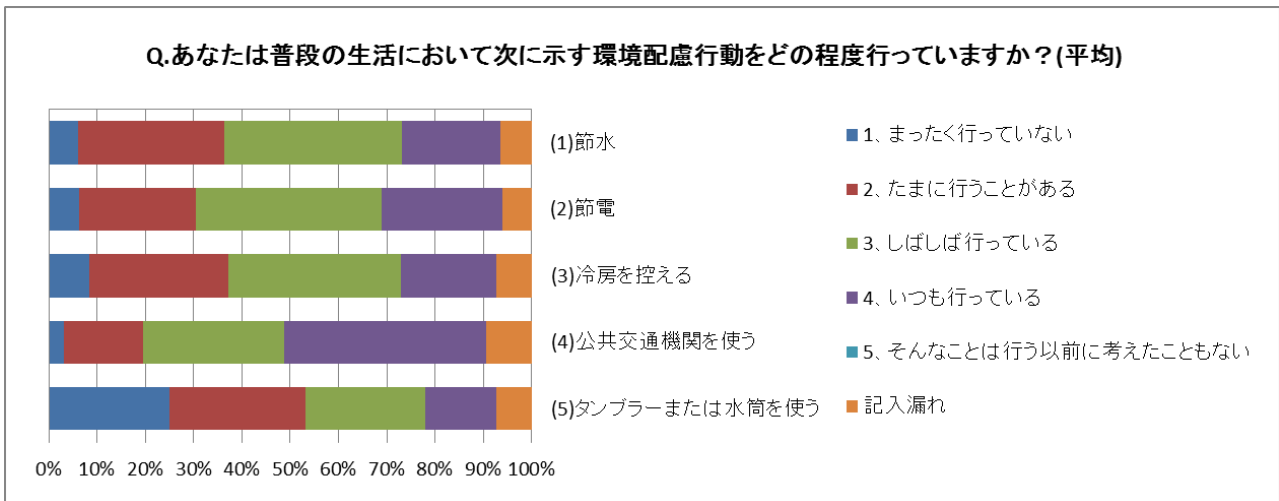
しかし、まだ改善すべきところもあるので、回収方法のポスターを増やすなど、他にも毎月の回収率を学生ホールなどに掲示して見ることができるようにするなどで回収方法をわかりやすくすることでさらなる向上を目指せると思われる。

●環境配慮行動

<2013 年前期>



<2013 年後期>



	(1)節水	(2)節電	(3)冷暖房を控える	(4)公共交通機関を使う	(5)タンブラーまたはペットボトルを使う
前期	2.7	2.8	2.9	3.3	2.1
後期	2.8	2.9	2.7	3.2	2.3

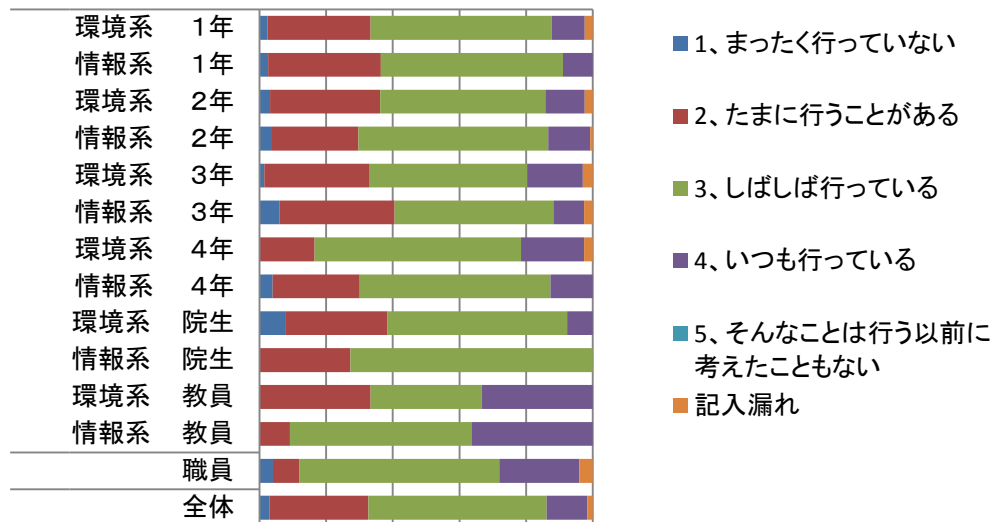
※この表は、5段階尺度を等間隔とみなして数値化したものである。

※今回調査における環境配慮行動実現度平均と ISO14001 認知度の相関係数は、0.295 だった。

<2013 年前期>

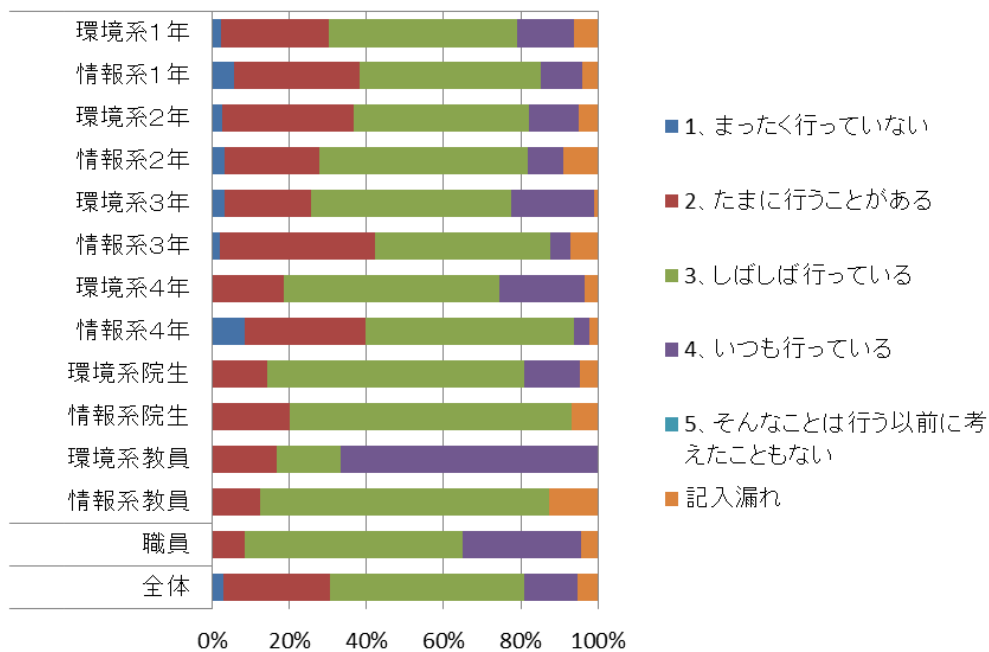
### Q.あなたは普段の生活において次に示す(1)～(6)の環境配慮行動をどの程度行っていますか？(全項目平均)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



<2013 年後期>

### Q.あなたは普段の生活において次に示す(1)～(6)の環境配慮行動をどの程度行っていますか？(全項目平均)



全体的に環境配慮行動を行っている割合が少し増えた。

(1)節水、(2)節電、(5)タンブラーまたは水筒の利用を行う人の割合が増えた。

節電は省エネシールの効果が少しみられたように思われる。

タンブラーまたは水筒の利用を行う人の割合は前期と変わらず5項目中で一番行われていないが、増加の割合は一番大きい。よって、啓発活動によっては学生たちにとって行動に移しやすい環境配慮行動であると考えられる。

(3)冷暖房を控えるに関しては今夏の猛暑で前期のアンケート時よりも使用する頻度が高かったためか、割合が減ったのではないかと考えられる。

同時にいつも行っている人の割合がほとんど変わっておらず、まったく行っていないという人の割合は減っている。このことはもともと環境配慮行動が意識して出来ていた人はそのまま継続して出来ていたが、新たに意識できるようになった人はほとんどいないと言える。

(4)公共交通機関を使う、はいつも行う人の割合が減少した。

全体的に情報系の配慮行動の割合が少ない。

環境系教員の環境への配慮行動を行っている割合が増えた。

院生・教員・職員は配慮行動をまったく行っていない割合がほとんどないが、学生は3,4年でもまったく行っていない割合がある。

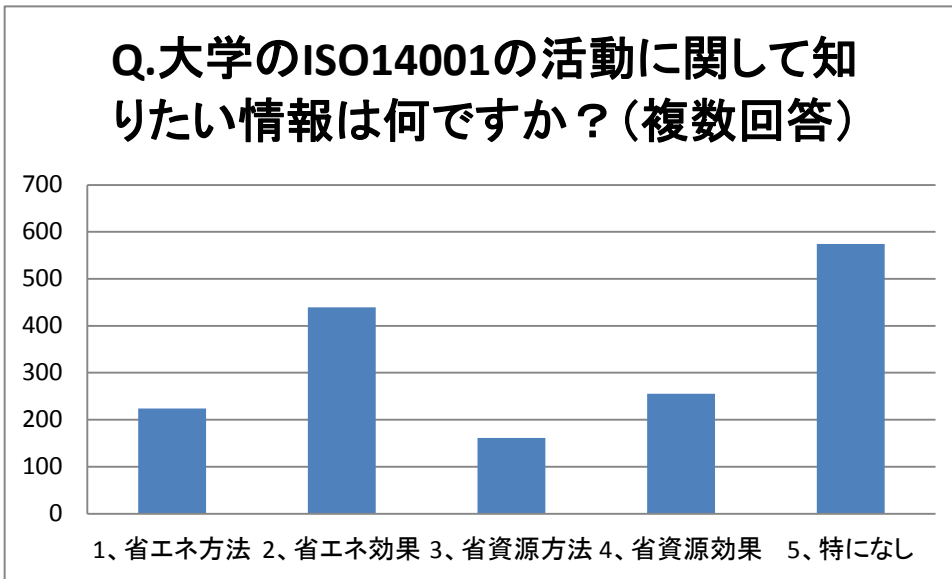
1,2年に比べ3,4年には環境系と情報系で意識の差が大きくなってしまっている。

#### 【改善点・改善案】

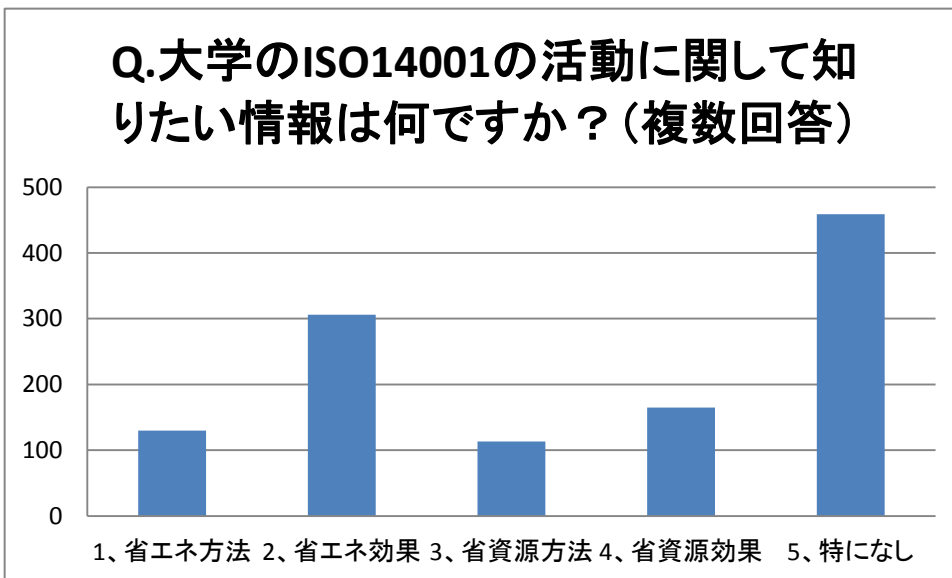
- ・情報系の学部は学年関係なくあまりよくないので環境系と情報系の意識の格差をなくす必要がある。
  - ゼミを中心とした(3階～)啓発を行うと良いと考える。
  - 上の階(例えばペットボトルのキャップ置き場8分別箱印刷機あたり)は常に活用するので、その辺を重点としたポスター啓発など行う。
- ・学年が上がるにつれて行動も改善されているので1,2年の意識改善が必要。
  - 1,2年が一番使用しているであろう食堂や学生ホールでのポスター啓発を行う。
- ・全体的に記入漏れが目立つので質問の仕方を少し工夫することが必要。
  - なぜアンケートを取るのかの主旨や目的をもう少し強く主張。
  - 回答時間を十分設ける。
  - 提出前の回答漏れ確認を促す。
  - 最も記入漏れが多い公共交通機関を使うについては(電車・バス)など具体的に記載。
- ・学校に給水機やコップが常備してあるのでたくさんの人が通学期間はタンブラーなどを持ち歩かないことが多いと考えられる。
  - 夏休み前にタンブラーや水筒の啓発ポスターを掲示。
- ・冷暖房に関して、これからの季節の暖房使用への懸念。
  - 暖房をつけずに暖かく過ごす案を提案する必要がある。ウォームビズなど。

●ISO 活動について知りたい情報

<2013 年前期>



<2013 年後期>



省エネに関する数値が高い傾向にある。これは現代において多くの人が省エネに対する関心を持ちテレビなどにもよく取り上げられているからだと思われる。そのため、今後はエアコンの設定温度調査等を通して情報公開を進めるべきである。

また「特になし」と答える人がもっとも多かった。これは多くの構成員が ISO14001 の活動について関心がないということだろう。今後はより多くの構成員に ISO14001 について興味を持ってもらうようにする必要がある。

以上